

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年10月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 小田原箱根商工会議所 | 代表者名 | 鈴木悌介 |
| 担当者部署 | 総務課 | 連絡先電話番号 | 0465-23-1811 |
| 担当者役職 | | 担当者氏名 | |
| 住所 | 250-0014 神奈川県小田原市城内1-21 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

| | | | |
|-------|------|-----------|--------------|
| 団体名 | 小田原市 | 連絡先部署 | 観光課 |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | 0465-33-1520 |
| | | 連絡先E-mail | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 織田 友理子 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 車椅子の方の割合(60人に1人)、一人で段差を乗り越えられる高さ(4.5cm)、車椅子の方への情報が不足していることなど実際に聞いて、当地域での受入れ態勢ができていないことが改めて参加者で共有することができた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 具体的にどのように推進していくかの助言をお願いしたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|----------------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2019年10月10日 | 10時00分 | 11時30分 | | 90 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 小田原箱根商工会議所 | | 最寄駅 | 小田原駅 |
| | 所在地 | 神奈川県小田原市城内1-21 | | | |
| | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 観光に関連する団体及び行政 | 12人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | バリアフリー観光を推進する上では、まず関係者の意識向上と継続的な取り組みが必要となるが、如何にして観光に関係する人々の本事業に対する理解と協力を仰ぎ、今後の取組に巻き込むかが課題となる。 | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 今回は今後の具体的な取り組みに向けた助言が主な目的であったため、現段階では定量的な数値はは定めていない。ただし、今後関係者を巻き込んでの継続的な取り組みとしていくために、多くの関係者を集結させ、課題に対する共通認識と、課題解決に向けた今後の取組の方向性や具体的な内容などについて合意形成を図りたい。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | バリアフリー推進に取り組みまれてきた経験や当事者としての目線に立って、観光地におけるバリアフリー推進において、どのような情報発信や物理的バリアフリーの改善が必要となるかなどについて助言をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | アドバイザーからの助言により、今までバリアフリーに対しての知識と関心がなかったことが改めて感じ取ることができた。 来年のオリンピック・パラリンピックに向け、バリアフリーに対しての意識改革ができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | 今後どのように取組んでいくかまでは話が進まなかった。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演・セミナーでなかったため特にアンケートは取らなかった。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③現段階では課題・問題が残っているため未定 |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

